

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

2003年8月改訂(第2版、自主改訂)
1998年10月改訂(新様式第1版)

貯法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	875200
承認番号	(62AM)578
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

■ 125 ■

漢方製剤

ケイ シ ブク リョウ ガン カ ヨク イ ニン
ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。 日局ヨクイニン.....10.0g 日局トウニン.....4.0g 日局ケイヒ.....4.0g 日局ブクリョウ.....4.0g 日局シャクヤク.....4.0g 日局ボタンビ.....4.0g	
	添加物	日局軽質無水ケイ酸、 日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡灰白色
	におい	特異なにおい
	味	わずかな甘味とわずかな苦味
	識別コード	ツムラ/125

【効能又は効果】

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症：
月経不順、血の道症、にきび、しみ、手足のあれ

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
著しく体力の衰えている患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 重要な基本的注意
(1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
(1)過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
(2)消化器：胃部不快感、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるトウニン、ボタンビにより流産の危険性がある。]
- 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【包装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

